




くらなび会員紹介(くらなびの団体会員をご紹介します)

今回は、FBC福井放送さんとコープサービス福井さんに寄稿していただきました。

どちらの団体も、くらなびの事業を理解し、くらなびを強力に支援してくださる「くらなび会員」です。

会員名	福井放送株式会社	株式会社コープサービス福井
<p>簡単な紹介</p> <p>※組織の理念や 主な事業・活動</p> 	<p>「故郷に寄せる人々の想いを守り育てる。心豊かな福井のために。」のテーマを掲げてFBCは動き始めています。</p> <p>私たちは未来に向けてどのような役割を果たしていけるのか。その第一歩は、「心豊かな福井」に貢献することだと考えています。ふるさとの、人、環境、文化を守り、未来に伝えていくためにも、人と人、地域と地域を結ぶ情報ステーションとしてチャレンジしていきたいと思っています。</p> <p>アナログテレビ放送は今年7月をもって終了し、地上デジタル放送に完全移行します。FBCのリモコンチャンネルは7チャンネルです。</p>	<p>わが社は県民せいきょう100%出資の福井県民生協グループ会社です。建設業法や保険業法など法的に生協として直接経営できない分野や、労働条件その他の条件で別会社化が効率的である分野の事業に取り組んでいます。具体的な事業としてはハウジング事業、生損保代理店業、葬祭事業、酒類・食品卸業です。</p> <p>今年度、設立15周年を機に、前身の「有限会社相互サービス福井」から「株式会社コープサービス福井」へ組織変更いたしました。これまで利用していただきました組合員様や育てていただきました関係者の方へのご恩を忘れずに、事業を通して感謝の気持ちを伝えていきます。</p>
<p>消費者への メッセージ</p> 	<p>世界中から食材を輸入している日本。スーパーマーケットで買い物をしていても、いったいどの食材が安心して食べられるのか判断しづらい世の中になっています。外国から輸入されている食材から高濃度の農薬が検出されたりと、危ない食材の現状がニュースなどで報道されています。私たちに、未来を担う子供たちに、安心して食べられる食材を提供しなければなりません。</p> <p>福井県では、地元で採れた食材を活かした学校給食作りなどに熱心に取り組んでいる人がたくさんいます。地産地消(地域で採れた食材をその地域で消費する)の大切さと、安全な食材を提供できる仕組みを、みんなでつくりたいものです。</p>	<p>福井県民生協の組織力を生かした商品、サービスの価格メリットや優位性を常に目指しております。また、これらの専門分野における環境、経済、高齢化対策の、より良い情報発信に取り組んでまいります。どうぞ気楽にお声がけ下さい。</p>
<p>くらなびに 期待すること</p> 	<p>ふくい・くらしの研究所の理事会に出席して2年。研究所が、「食」「環境」「福祉」「文化」など、幅広い「くらし」をテーマに講演や勉強会、イベントを開催していることを知りました。研究所が発行する情報誌「くらなび」の存在も知りました。勉強になる内容がたくさん掲載されていて毎号楽しく読ませていただいています。</p> <p>くらなびの購読者が増え、皆さんの「くらし」を見直すきっかけづくりになればと期待しています。</p>	<p>悪質リフォーム業者問題や住生活における環境問題、くらしの保障など、消費者が安心して暮らせる質の高い情報を今後も発信していただくと期待しています。</p>

お知らせ & 編集後記

今年度方針である「公益社団法人移行認定」の申請を12月28日に行いました。順調にすすめば、年度内に福井県公益認定等委員会による審査が行なわれ、移行認定の答申が出されれば、公益社団法人として登記することになります。

これからもくらなび会員の皆様のご協力・ご支援をいただきながら、くらなび事務局一丸となって、志しを高く持ち、がんばって参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(専務理事 榎尾智恵子)

寒中お見舞い申し上げます。道路が凍りつき、朝夕の通勤が大変な今日この頃ですが、皆様の体調はいかがでしょう。どうぞご自愛下さいませ。2011年に入り、うさぎ年ということで跳躍の年だとか…色々な経済指標が「持ち直し」を示しているとか…(本当かな)。卯年なので、くらしの苦しさは続いてもせめて耳をそば立てて、自分自身を守る情報は聞き逃さないようにしたいものです。(大)

